
プレスリリース

2020年5月18日月曜日 00:01、ロンドン

COVID-19のプラチナ市場への影響は予想を下回る

- 2020年の需要は18%減だが、供給は13%減
- 2020年の8トンの余剰は、以前の予測よりも4トン高いだけであると予測
- 投資家は価格の下落を好機と捉え、全体に占める地金とコインの需要が、前四半期の2%から2020年第1四半期に19%に急増した
- 製錬プロセスの機能不全とより厳しい自動車排出規制が、余剰を制限する主要な要因

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル（WPIC）は本日、2020年第1四半期の『Platinum Quarterly』を発行しました。これには2020年予測の修正が含まれています。

COVID-19のパンデミックは価格、需要、供給を含め、プラチナ市場に大きな悪影響を及ぼしましたが、2020年第1四半期の結果は、全体に対する影響は恐れられていたほどではなく、2020年の見通しは予想よりも良いことを示しています。

3月のプラチナ価格は、ほとんどの株式や金属の価格とともに10%から35%下落しました。中国のプラチナ需要は、今四半期の初めに減少しました。しかし、南アフリカにおけるパンデミックとは無関係の製錬プロセスの機能不全と、ウイルスの蔓延を減らすための鉱山閉鎖により、四半期のプラチナ供給は大幅に減少しました。

2020年第1四半期の全需要は、前四半期から5%減少して(-3トン)、51トンとなりました。一方、全供給量は2019年第4四半期から19%減少して(-13トン)、55トンとなっています。これにより、2020年第1四半期の余剰は4トンとなりました。

WPICは、2020年には8トンの余剰が生じ、COVID-19の影響にもかかわらず、前回の予測よりも4トンのみ多くなると予測しています。2020年の需要は、主に自動車や宝飾品の売れ行きが鈍いことや投資需要が減少することにより、2019年よりも18%低くなると予想されます。供給は、製錬の停止とパンデミック関連の鉱山の操業停止の重大な影響により、前年比で13%減少すると予測されています。

地金およびコインへの投資需要の高まり

2020年第1四半期の地金およびコインへの投資は10トンに急増し、2019年の四半期平均の2トンに対し、300%以上の増加となりました。これは日本と米国での地金とコインの需要の急増によるものであり、また低いベースからではありますが、ヨーロッパでの需要も増加しました。この増加は主に、3月の価格下落後の「安値買い」によるものでした。地金およびコインへの投資需要は、2020年には115%増加して19トンになると予想されています。

これは、プラチナ価格が、プラチナ自体や金、パラジウムに対して歴史的なディスカウントを維持した状態のときに起こっています。

より厳しい自動車排出規制の実施が、2020年の需要を後押しする可能性

COVID-19によって引き起こされた工場閉鎖により生産量が急激に減少し、前例のない売上高の減少が生じたことから、2020年第1四半期の自動車需要は前年比17%減少(-4トン)して、20トンとなりました。まず中国において、そしてその後すぐに世界的に発生したこうした製造停止により、今四半期のプラチナの需要が減少しました。

2020年における自動車用プラチナの需要合計は14%減少する(-13トン)と予測されていますが、中国の自動車用需要は、COVID-19の影響にもかかわらず、14%増加すると予想されます。大型車に対する中国VI規格の段階的導入により、プラチナ充填量は予想される生産台数の減少を上回る増加をもた

らします。同様に、2020年4月のインドにおけるバーラト・ステージ VI の施行も、現在実施されてロックダウン規制の影響にかかわらず、プラチナの需要を増加させる見込みであります。

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルの CEO、ポール・ウィルソンは次のようにコメントしています：「警告もなく、ほぼ一晩で、COVID-19 はプラチナ市場に未曾有の状況をもたらし、需要と供給に深刻かつネガティブな直接的な影響を与えました。ただし、これは今後数か月間においても注目されるでしょうが、プラチナの需要と価値を高める可能性がある他の地殻変動があることも忘れてはなりません。実際、こうした需要の伸びの可能性は、COVID-19 のパンデミックの収束後もおそらく長く続くでしょう。CO₂ 排出量の削減は依然として世界的に不可欠な事項であり、ヨーロッパの自動車メーカーは数年前からこの準備を行っています。2020 年の自動車メーカーの CO₂ 削減対策には、プラチナ充填量が多い、すでに販売されている幅広いディーゼル車やディーゼルハイブリッド車が含まれるため、プラチナの需要の増加が見られる可能性があります。COVID-19 とは無関係なパラジウムの需要の伸びとその価格が高いことから、世界の 2 大乗用車市場である中国と北米において、自動車触媒需要をプラチナが取って代わるニーズが引き続きあります。

「パンデミックの発生に伴い、当カウンシルの世界の商品パートナーとの緊密な関係は、私たちに市場の状況やさらなるインサイトを提供してくれることから、特に価値があることがわかりました。こうした関係を通じて、私たちはプラチナ価格の低下に対する中国市場の反応を正確に理解しており、上海黄金取引所（SGE）におけるプラチナの売上高は、2019 年の四半期あたり平均 5 トンから、2020 年第 1 四半期には 14 トン koz まで増加しました。これは、短期または長期の在庫レベルの積み増しが有利に行えたとの、プラチナの工業・宝飾品の長年の製造生産者の賢明な反応によるものであります。同様に、米国と日本の WPIC 商品パートナーは、消費者によるプラチナ地金およびコインの購入が急増していることを報告しています。これらのパートナーとの協力により、プラチナに対する意識が高まり、このような地金とコインの非常に強いパフォーマンスを目にすることは喜ばしいことです。パートナーたちが現場で直接目撃しているこのブームが、私たちが本日発表する数値に反映されていることを嬉しく思います。」

	2017	2018	2019:020年予想	2020年予想	2019年成長%	Q1 2019	Q4 2019	Q1 2020
プラチナ需要供給バランス (トン)								
供給量								
精鉱生産量	191	190	190	164	-13%	41	49	40
南アフリカ	136	139	137	114	-17%	27	37	27
ジンバブエ	15	14	14	14	-4%	4	3	4
北米	11	11	11	11	-1%	3	3	3
ロシア	22	21	22	21	-5%	6	5	5
その他	6	5	5	5	1%	1	1	1
生産者在庫の増加 (-)/減少 (+)	+1	+0	+0	+0	-100%	+0	+1	+0
鉱山からの供給量合計	191	191	190	164	-13%	41	51	40
リサイクル								
自動車触媒	59	60	67	59	-12%	17	17	15
自動車触媒	41	44	51	47	-7%	13	13	13
宝飾	17	16	15	11	-28%	4	4	2
工業	0	0	2	2	-2%	0	0	0
供給量合計	250	251	257	224	-13%	59	68	55
需要量								
自動車	103	96	90	77	-14%	24	22	20
自動車触媒	99	92	90	77	-14%	24	22	20
ノンロード	4	5	↑	↑	↑	↑	↑	↑
宝飾	77	70	65	56	-15%	17	16	12
工業	52	59	68	65	-5%	17	14	17
化学	18	18	22	19	-12%	4	6	5
石油	3	7	7	4	-44%	2	2	1
電気	7	6	5	4	-3%	1	1	1
ガラス	6	8	9	15	58%	4	-1	4
医療	7	7	8	7	-8%	2	1	2
その他	12	13	18	16	-13%	4	5	4
投資	9	0	39	19	-52%	25	3	2
地金、コインの変化	7	9	9	19	115%	3	1	10
ETF保有量の変化	3	-8	31	0	-100%	21	1	-7
取引所が保有する株式の変化	-1	-1	-1	0	100%	0	0	-1
需要量合計	241	226	262	216	-18%	82	54	51
残高	9	25	-5	8	247%	-24	14	4
地上在庫	129*	74	98	108**	7%			

出典： Metals Focus 2019 – 2020, SFA (Oxford) 2013 – 2018.

注： 1. 2019年以前の数値は、それぞれもっとも近い 5 koz 単位に切上げ・切り下げされています。

2. 地上在庫：* 2012年 12月 31日現在 (SFA (Oxford))。 ** 2018年 12月 31日現在 (Metals Focus) 3,650koz.

3. ノンロード自動車における需要：↑2019年および 2020年分は自動触媒に含まれる

メディア関連のリクエストについては、エレファントコミュニケーションズにお問い合わせください。

Guy Bellamy / Jim Follett

wpic@elephantcommunications.co.uk

編集者への注記：

『Platinum Quarterly』について

『Platinum Quarterly』は、世界のプラチナ市場を四半期毎に分析するもので、独立した立場で実施され無料で提供される業界初のレポートです。『Platinum Quarterly』は、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルの刊行物です。これは主に、2019年以降はプラチナグループの金属市場での独立機関である Metals Focus に委託され実施された調査と詳細な分析に基づいています。

World Platinum Investment Council (ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル) について

World Platinum Investment Council Ltd. (WPIC) は、プラチナ投資に関する世界市場の権威として、客観的で信頼できるプラチナ市場情報に対する、投資者の方々の強いご要望を受けて設立されました。WPIC の使命は、実用に役立つ見識と目標を定めた商品開発を通じて、プラチナに対する世界の投資需要を喚起することにあります。WPIC は、南アフリカの主要プラチナ生産者により 2014年に創設されました。WPICの加盟会社は、Anglo American Platinum (アングロ・アメリカン・プラチナ)、Impala

Platinum（インパラ・プラチナム）、Northam Platinum（ノーザム・プラチナ）、Royal Bafokeng Platinum（ロイヤル・バフォケン・プラチナ）です。

詳細については、こちらをご覧ください：www.platinuminvestment.com

WPIC 事務所住所: 64 St James's Street, London, SW1A 1NF

Metals Focus について

Metals Focus は、世界をリードする貴金属コンサルタント会社の 1 つです。同社は世界の金、銀、プラチナ、パラジウム市場の調査を専門とし、定期的なレポート、予測、カスタマイズされた特注のコンサルティングを行っています。Metals Focus チームは 8 か所の管轄区域を拠点とし、世界中に広範なコンタクトを持っています。これを活かし、Metals Focus は、貴金属市場に関する世界レベルの統計、分析、予測を提供することに注力しています。

詳細については、こちらを参照してください：www.metalsfocus.com

プラチナについて

プラチナは世界で最も希少な金属の 1 つで、独特の品質を持つため、様々な需要分野において高く評価されています。プラチナ特有の物性および触媒活性は、工業利用においてその価値を確立しました。同時に、貴金属としての独特な特質のため、高級宝飾品にも使用されています。

プラチナには、主に鉱山での生産とリサイクルの 2 つの供給源があります。後者は使用済み自動車触媒と宝飾品のリサイクルによるものが主流です。過去 5 年間の年間プラチナ総供給量（精製済みオンス）の 76%~78%は、鉱山で生産されたものです。

世界のプラチナ需要は堅調で、ますます多様化しています。プラチナ需要の 4 大主要分野は、自動車、工業、宝飾、投資です。

自動車触媒からのプラチナ需要は、過去 5 年間の合計需要の 36%から 43%に相当します。その他の工業分野でのプラチナの多様な使用は、世界総需要量の 23%となっています（過去 5 年間の平均）。同じく過去 5 年間の宝飾品におけるプラチナ需要は、年間平均でプラチナ総需要の 31%を占めています。投資はプラチナ需要の中で最も小さいカテゴリーであると同時に、過去 5 年間で最も変化が大きく、総需要の 0%から 15%を占めています（未公開の地上在庫の増減を除く）。

免責事項

World Platinum Investment Council、Metals Focus のいずれも、規制当局から投資アドバイスをを行う許可を受けていません。この文書のいかなる部分も、投資アドバイス、または証券もしくは金融商品の売買を意図するものではなく、またそのように解釈されるべきではありません。投資を行う前に、常に適切な専門家のアドバイスを求めてください。詳細については、こちらをご覧ください：www.platinuminvestment.com